



学校便り 8月号

# かけはし

薩摩川内市立里小学校 薩摩川内市里町里 1601 TEL 09969-3-2008  
発行 令和4年8月19日 責任者 校長 永野 俊也

学校HP 学校ブログ



## 里の山と海から


昭和 36 年 里の光景

～ 1年間見続けた里の光景より ～ 校長 永野 俊也

早いもので、この里に赴任し1年と5ヵ月が過ぎ去ろうとしています。赴任した年が、ちょうど創立 150 周年に当たったこともあり、過去の多くの写真を集め、里の歴史を学ぶ機会に恵まれました。そのせいか、ず～っと昔から里の村に住んでいるという気が自分自身するようになっていきます。

遠目木山や牟礼山をチェーンソー背負って歩きながら、かつての防空監視所跡や、権現堂を見るにあたり、当時の様子が偲ばれます。また、青野熊竹蘭をかき分けながら、段々畑跡を降りてくると、今は枯れてしまっている唯一の水場跡があります。「そうかあ、畑が山に還ってしまったから、木々が水を吸い上げ、水脈が止まったんだ。」何度か通るうちに、そんなことに気づくようになります。

今年の4月からは漁協の準組合員に入れていただき、海の中にいる時間が増えました。そこで目にする光景からも、「なぜ昭和 40 年代は、こんなに→鮑が採れたんだろう？」など、海藻の状況を見ながら考えるようになりました。昭和 40 年代以降、里村では大きな転換期を迎えることに気づきます。

「人々の生活スタイルが変わり高度成長期を迎える里村では、収納小屋が消え段々畑が山に還りはじめる。また、家畜と共にあった生活も居住区画の整理がすすみ、下水処理施設も整う。」結果、山や里から海へ流れていた養分が少なくなり、海藻が減少。海の生態系も変化した？ 私の浅い知識ですから、なんとも言えないところですが、陸の光景と海の中の光景は、大抵の場合連動していますから、陸が大きく変化すれば、海の中も当然変化していると思うのです。ただ、時代が変わって今の里の海も私は大好きです！澄んだ水面に、港の中までウミガメが遊びに来る。そして私などにも銜を持って海に入れば、少しばかりの恵を分けてくれる。遠泳の訓練で海を巡回し、カマスの渦巻き発見したら、すぐに漁師さんに連絡して私なりの役割を果たしたい。そんなことも考えるようになっていきます。

さて、話をこの夏休みの出来事に移します。前々から勉強したかった社会教育について、時間をもらい熊本の大学で勉強させていただきました。久しぶりに学生となり ↑ (上へ)



レポートに追われる日々でしたが、その中でグループレポートの提出が求められました。私たちのグループが考えたテーマは、「人口減少化社会における地域を活性化させる社会活動のあり方」で、交流人口（観光など）や定住人口ではなく、**関係人口**（その地域に住まなくても、ずっとその地域にかかわりを持ち続けてくれる人口）にスポットを当てました。

子供たちは 15 歳で島立ちを迎え、その後島外を起点としながら生活をしていく割合が高いとしても、関係人口として地域の活性化のために、さまざまな企画に参画することは可能ではないか？ 大学に集った若い人との協議の中で、未来に夢を持つ話を多くできたことが、何よりの収穫でした。

それと…大学の講義の中で、「少子高齢化社会の労働力不足を解消する方法がある！」と教授が言うので何!?! と注目しました。「健康年齢を上げて、90 歳までが労働人口となればよい！」くらくらしました。そうすると年金の問題も医療費負担の問題も一挙に解決するそうですが… 数字上の極端な事例から、何かをつかませようとする学びのスタイルも大変刺激的でした。

私たちが健康であり続けることは、子供たちの負担を減らすことにつながることは間違いが無いので、健康管理に努めなければと強く思いました。

さあ、まもなく2学期が始まります。子供たちはこの夏、どんな体験を重ねて成長しているのでしょうか？ この里地域の持つパワーは計り知れない。そんなことを感じます。先生方もそれぞれ研修を重ね、力をつけてくれています。2学期新たに始まるドラマを楽しみにしています！

## 校内水泳大会7/12



## 玉石アート♪7/20

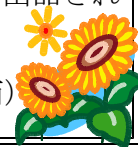


## 9月行事

- 1 日 (木) 始業式・大掃除・身体計測
- 6 日 (火) 全体練習(1校時)ALT
- 8 日 (木) 学級 PTA かのこゆり号来校
- 9 日 (金) 小中合同練習(3,4校時)
- 10 日 (土) 土曜授業 避難訓練
- 12 日 (月) 全体練習(1校時)
- 14 日 (水) 学校運営協議会(里小)
- 15 日 (木) 小中合同練習(3,4校時)
- 16 日 (金) 全体練習(1校時)
- 20 日 (火) 運動会予行(2~4校時)
- 21 日 (水) 運動会準備(5,6校時)
- 22 日 (木) 全体練習(1校時) SC 来校 EST
- 25 日 (日) 合同運動会
- 26 日 (月) 振替休日

7/12 (火) 2年ぶりに里プールで校内水泳大会が開催されました。誰も水を怖がらず、果敢に記録に挑む姿は、さすが里っ子！と頼もしく思いました。今年の新記録は次の通りです！  
6年生男子 50m 自由形 石原航介 38秒02  
おめでとうございます。

7/20 (水) 夏休みを前に、玉石アートの教室が開催されました。里産の玉石に、自由な発想で浮かんだアイデアを思い思いに描いていました。できあがった作品は、トンボロ芸術祭へ出品されます。里の鮮やかな光景の一つとして、里の秋を彩ってくれます！（関連写真 裏面）



# 村時代の慰霊祭復活（平和集会） 7/9

掲載日：2022年07月19日，面名：1 県

(C)南日本新聞

平和集会で誓いの言葉を述べる下瀬弥生さん  
 薩摩川内市上瀬の亀城跡



## 村時代の慰霊祭復活 薩摩川内・里小「平和考えよう」

薩摩川内市上瀬の里小学校が学校裏手の亀城跡に設置されている戦没者慰霊塔前で平和集会を開いた。里地区コミュニティー協議会にも呼びかけ、戦没者を慰霊し末永い平和を願った。

慰霊塔には戊辰戦争以降に出征した地区の戦没者196人の名前が刻まれる。里村時代には毎年4月1日、慰霊祭を開いていた。合併後、市の合同慰霊祭に統合されたが、「平和について考える機会にしよう」と同校が9日、17年ぶりに集会の形で復活させた。会では児童代表の6年下

瀬弥生さんが「亡くなられた方々の冥福をお祈りし、平和な世の中が続いていくよう一人一人が努力していきます」と誓いを述べた。

コミュニティー協議会の会長は「里村時代は村民がそれぞれ花を持ち寄り、慰霊塔が花束に囲まれていた」と振り返り、「広く地域の方に

も呼びかけ、末永く継承していきたい」と話した。集会に合わせて献花や城跡の公園の整備などに地域も協力した。（高瀬千史）

\* ウクライナへのロシア侵攻が続き、世界的に平和への願いが高まる中、新聞記事にあるように、「平和集会」という形で、里村時代の慰霊祭が復活しました。

朝の15分という短い時間ではありましたが、里村から出征し平和の礎となられた方々を思い、1分間の黙祷を、みんなで捧げました。

来年度へつながる、よき機会となりました。

## 玉石アートの様子

